

那覇軍港の将来のまちづくりに向けて **情報誌**

発行：那覇市 総務部 平和交流・男女参画課 那覇軍港総合対策室 協力：那覇軍用地等地主会

今年度実施しました「地権者等合意形成活動」と「跡地利用計画づくりに係る取り組み」の概要を報告します。

那覇軍港のまちづくりにおける地域資源の活用検討

那覇軍港のまちづくりを考える
次世代の会の活動

次世代の会は 垣花出身の次の世代が集まり、地権者の先達の皆さまが活動していることを引き継げるように、早い段階から将来の那覇軍港のまちづくりを考える準備をしている組織です。

那覇軍港のまちづくりに自然資源（海・太陽・空・風・緑）をどの様に活用できるのか、具体的なイメージを考えています。月1回の定例会で議論しているほか、考える上での参考として「那覇まちまーい」や「真珠道*巡り」などのフィールドワークも実施しています。

※裏面にて真珠道を少しご紹介いたします。

また、他の駐留軍用地における若い世代の組織と定期的に意見交換会を実施しており、将来のまちづくりにおける連携・協力体制の構築を目指しています。



月1回の定例会

毎月第2木曜日の19時に集まり、意見交換をしています。



チームまきほ21との
合同勉強会

牧港補給地区における若手の組織である「チームまきほ21」とは今年度初めて意見交換を行いました。



普天間飛行場の跡地を考える
若手の会との意見交換会

「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」との意見交換会は定期的に実施しており、今年度で4回目となりました。



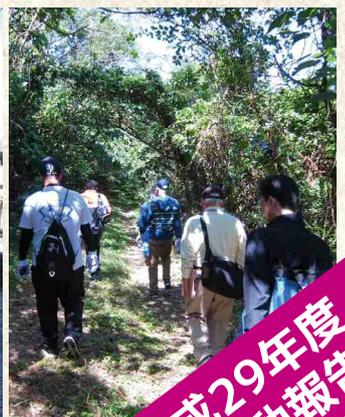
那覇まちまーい

那覇まちまーいに参加し、歴史まちづくりを体感しました。



真珠道巡り

首里城から屋良座森城まで続く、約10kmの「真珠道」を歩きました。



平成29年度
の活動報告

戦前の垣花集落の再現に向けた歴史資料の収集

将来のまちづくりの検討にあたり歴史文化は重要な要素であり、原風景に基づく検討ができるよう戦前の垣花集落を模型やVR*等で再現することを目指しています。今年度はそのための準備として戦前の地図やまちなみの写真を収集しました。

*VR(バーチャルリアリティ): コンピューターによって作られた仮想的な世界を、あたかも現実世界のように体感できる技術

沖縄中南部圏における開発動向の情報収集及び整理

那覇軍港の跡地利用は沖縄県全体に大きな影響を与えると想定されることから、跡地利用計画づくりの準備として周辺動向の把握を進めています。今年度は、関係機関(内閣府沖縄総合事務局・沖縄県・那覇港管理組合)及び周辺市町(浦添市・宜野湾市・北谷町・西原町・与那原町・豊見城市)における開発に関する取組み状況の情報収集と整理を行いました。

真珠道は、尚真王代の国を挙げての一大土木工事で、首里城ならびに那覇港を防衛する目的で整備されました。

那覇港の防衛のため、首里城を出た部隊は真珠道を通り真玉橋を渡り、東部および西部島尻の軍勢と合流し、垣花に位置する屋良座森城に集結し、那覇港南岸の外敵に対応する必要があり、島尻との交通・情報伝達そして防衛のため、真珠道は南廻りの軍用道路として重要な役割を担っていました。



「がじゃんびら通信」の内容及び那覇軍港跡地利用に関するお問い合わせ・ご相談

那覇市 総務部 那覇軍港総合対策室 担当: 濱川、又吉(明彦)、又吉(盛斗)

TEL: 098-861-6906 FAX: 098-861-4092

E-mail: s-heidan001@city.naha.lg.jp

那覇市 軍港

検索

